

あとがき

ある研究で社会と絆を持たない人は、絆を持っている人に比べて死亡率が2〜3倍高いとの報告があります。また、免疫システムと社会的な絆の研究では、社会的つながりが肉体や精神面の両方に作用していることがわかってきております。社会とのつながりが三つ以下の人は六つ以上の人に比べて風邪を引くリスクが4倍高いとのことです。

医学の最終目的は予防医学ではないかと考えておりますが、診断・治療によって平均寿命を上げているのが現実です。東洋医学では「未病」という概念があり、予防医学に通じるものだと思います。西洋医学でもここ数年、政府による健康診断の推進が行われ予防医学的な考えかたが広まってきております。この分野での活躍が最も期待されるのが臨床検査ではないでしょうか。病を治療することも大事ですが、それ以上に病気にならないような予防診断が行えれば、今後の高齢化社会において高齢者のQOLを高めることにもなるかと思えます。

今月号も多岐にわたった論文が掲載されております。専門領域はもちろんのこと専門外の論文も楽しんで読んでもらえると思います。検査診断知識・技能を知ることは当然のことだと思いますが、治療知識を基にした技術と知識は更なる躍進につながるものと思います。私事ですが、数年前より新たな分野の勉強を開始しましたが気力があっても記憶がついてこないために非常に苦労いたしました。ちょっと年上の(?)小生から一言“勉強は若いうちにしたほうがよく覚えられますし、記憶としても長く残ります”老婆心ながら……。

(永江 学)